

小田急電鉄総合車両所移転計画における実施計画書からの変更

● 変更内容と変更理由

実施区域及び対象事業の規模

関係公共施設管理者等との協議や設計及び工事計画の深度化により、付け替え道路と現道等との接続位置及び工事範囲を見直したことから、実施区域の範囲を変更した。(図1)

(当初 174,000 m²⇒
変更後 177,200 m²)

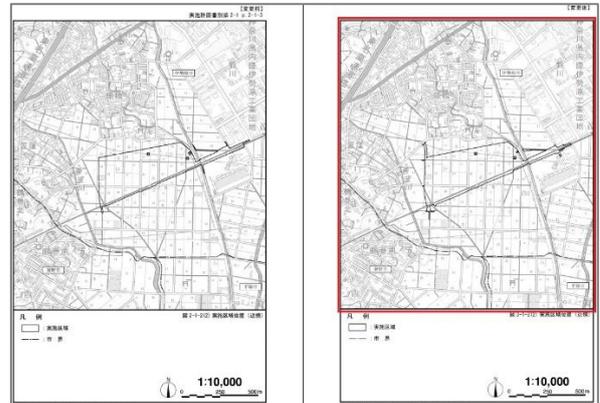


図1 事業実施区域の対照 (左:変更前 右:変更後)

土地利用計画

調整池の詳細な容量計算や構造検討の実施、都市計画道路の工程を踏まえた車両搬入口の位置調整等、関係公共施設管理者等との協議や設計の深度化に伴い、土地利用計画を変更した。

周知範囲及び調査地域

実施区域の範囲の変更に伴い、周知範囲(実施区域の周囲1kmの範囲)を変更した。(図2)

同様に、植物・動物の調査地域(実施区域から200mの範囲)を変更した。(図3)

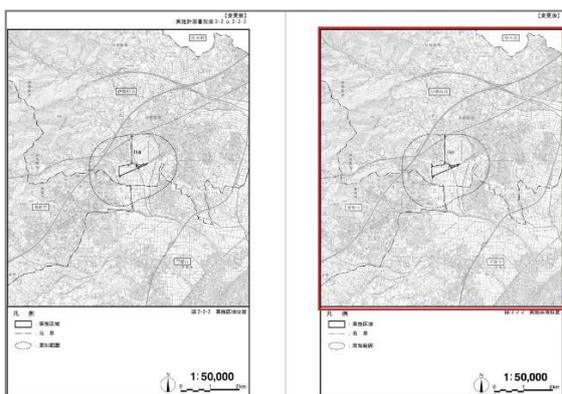


図2 周知地域の対照

(左:変更前 右:変更後)

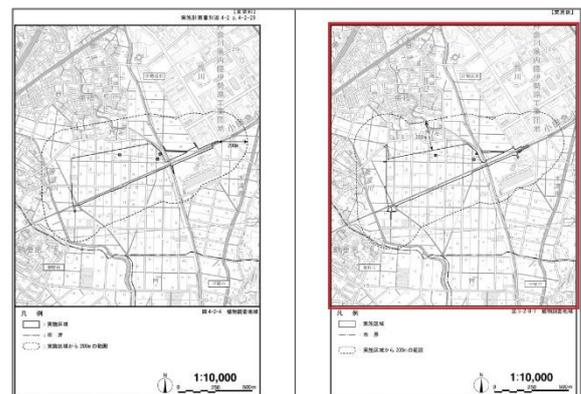


図3 調査地域(範囲)の対照

(左:変更前 右:変更後)